

# 「着服額調査中2000件 データー削除」判明

## 委員会で税務課公表

3月議会  
速報

21日、甲良町議会総務民生常任委員会（委員長＝阪東議員）が開かれ、着服事件の刑事・民事両面の進捗状況を議題に協議しました。

まず、税務課参事より報告。着服額解明のため整理していた「税金未納者リスト」358人分・約6000件（税目別、年度別、個人別に分別）の内、約2000件が税務課職員によって消去されていたことが3月3日判明したと発表。

山田裕康議員、西川議員、西澤議員はそれぞれ「重大で忌々しき事態だ」として事実関係・町長の認識をたしました。委員会では、次の事柄が明らかになりました。

町は、元職員による着服額が3000万円を超えたとし、膨大な収納データーの中から、データー上は「未納」だが、着服された税金の可能性があると判断し、442名の納税者に確認を依頼（昨年10月）。その内「真の未納」と判断した方が84名、残り358名分・6000件のデーターを整理していた。消去された2000件のデーターは約3か月かけて整理済みとなったもの。

削除した職員とは別の職員が削除に気づき、確認し、3月3日朝9時に上司である中川参事に報告したもの。

2月27日に職員によってフォルダーごと消されていたことが後に判明。

2000件のデーターは、刑事事件（業務上横領罪）とも連動するもの。もちろん民事事件＝Kの自己破産に対する異議申請、3000万円を超える損害賠償請求など＝の重要な証拠

書類となるもの。

北川町長は、山田裕康議員の質問に対して「削除」の事実は報告を受けた、としながら「不注意で削除したもの」と答弁。山田裕康議員は「パソコンの仕組みからも削除の意思なくして消すことはできないはず。顛末書ぐらいで済ませるのはおかしい」などと批判。

西澤議員は「消去となった詳細を解明中としながら、『不注意だった』とはおかしいではないか」と、消去をかばいたてる北川町長の姿勢を批判しました。そして厳重な調査を要請しました。

## 「西川議長の辞職願」否決

西川議長は3月議会最終日の冒頭、辞職願を提出。西澤議員は憲法の趣旨に基づき個人の意思を尊重して「可否をはかるべきではない」と提案しましたが、議会ルールに則り、賛否をとることになり、賛成5、反対5で宮寄副議長の裁定で否決となりました。

西川議長は「辞職」の理由を、副町長承認議案を突然追加し、防災センター建設検討委員会の結論も出ていない段階で予算が決められることにとっても納得できないので、一議員になって「これだけは止めないとだめや」と考えたと言っていました。

なお、総事業費7億2400万円の防災センター建設、開発業者丸投げの南部工業団地を含む予算、大橋久和氏の副町長承認は賛成6反対5で可決しました（副町長の報酬月額約55万円）。

### 甲良民報

2017年3月号外（699号）  
発行責任：日本共産党甲良町議員  
連絡：甲良町在土463（西澤）  
Tel：38-4949 Fax：38-2242

ご意見・ご要望をどうぞ。 ぐらし・税金・教育などの相談は

西澤伸明 38 4949 丸山光雄 38 3123 松元たけし 38 3875

日本共産党の見解を紹介します。

メール [shigakoura.jcp@ares.eonet.ne.jp](mailto:shigakoura.jcp@ares.eonet.ne.jp)

ホームページもごらんください【「西澤伸明」で検索】